

和紙をつくる。

和紙をつかう。



Making Washi, Using Washi.

会場：1Fギャラリー

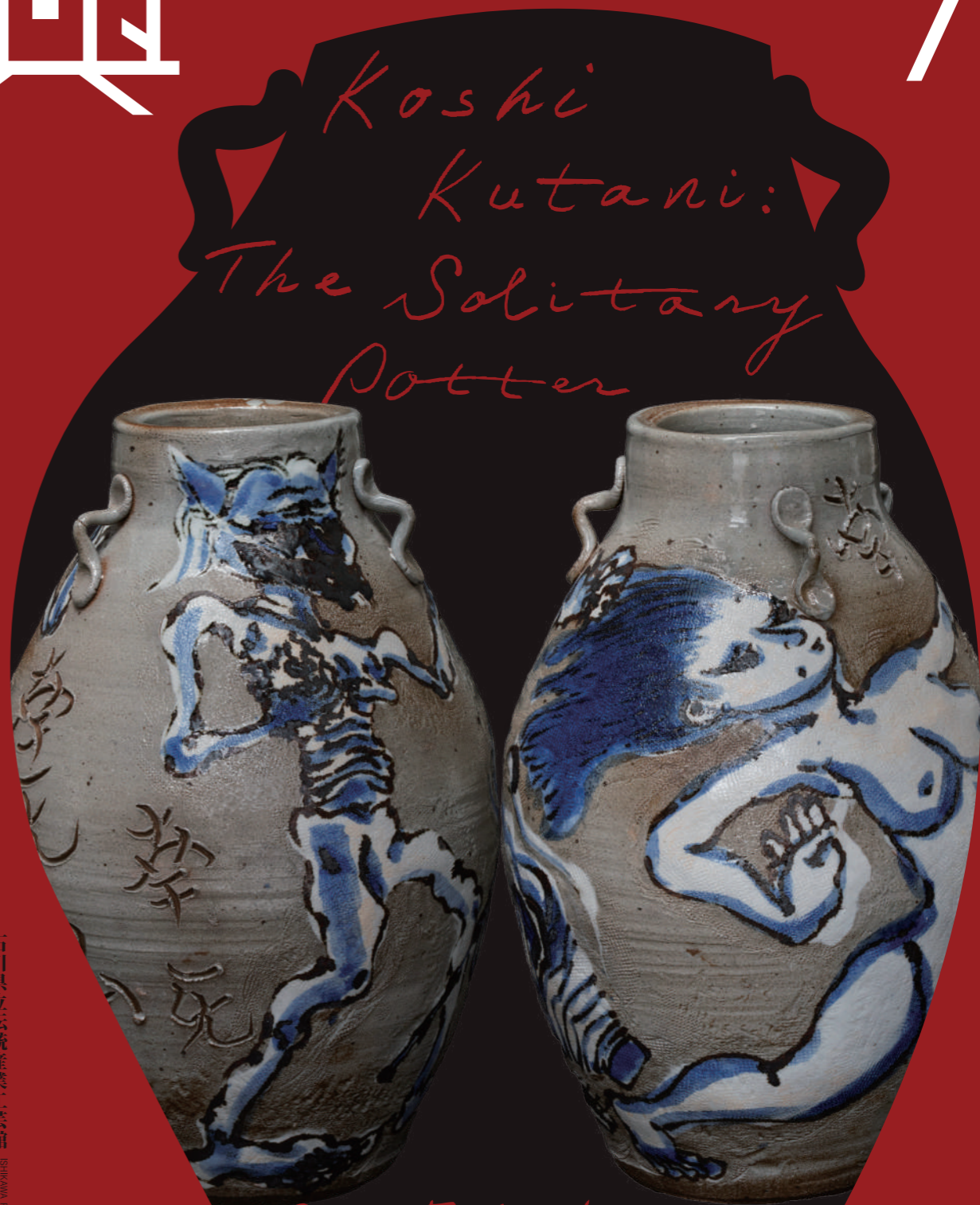
2025.12.19 → 2026.3.9

石川県立伝統産業工芸館
いしかわ生活工芸ミュージアム

興

九

孤高の陶芸家 九谷興子の仕事を見る



*Koshi
Kutani:
The Solitary
Potter*

*2025.12.19 Fri
→
2026.3.9
Mon*

会場：2F第4展示室

子

谷



九谷興子(1911-1998)は、造形と彩色を一貫して自身の手で行うことで、陶芸に新たな表現を切り拓いた作家です。

能美市根上中学校の講堂外壁に設置された陶壁《太陽のこぼれる町》をはじめ、国内外に多くの陶壁作品を残しました。大胆な造形と鮮烈な色彩により、九谷焼の伝統に新たな息吹をもたらしました。

本展では、陶のオブジェや器のほか、油彩・着物など、多岐にわたる作品をご紹介します。併せて、制作の背景にあるエピソードや着想の源となった伝承・風景に触れながら、その創作の軌跡をたどります。

九谷興子

南加賀の寺に生まれた九谷興子は、絵画制作や築窯・発掘に情熱を注ぎ、鈴木大拙や須田国太郎、中村岳陵、加藤唐九郎らに師事し、陶芸の道に進みました。日本橋三越での3回にわたる個展や海外での文化交流としての個展などで幅広く活躍。70歳を超えて突如、巨大な陶壁画への挑戦を始め、7つの大作を完成し、それは今も石川県内を始め国内各所に作品が残されています。そして、1998年3月16日に87歳でこの世を去りました。普通の九谷焼とは類を異にしつつも郷土をこよなく愛し、「極火即是業火」という画論のもとに生きた生涯でした。

破天荒にも見える生き方をした九谷興子の作品は、これまでまともな形であまり公開されていません。九谷興子の仕事の奥深さを探ると、また新しい感動が生まれるのではと期待しています。一人でも多くの方に、九谷興子の思いのたけをぶつけた絵画や陶芸の作品をご堪能いただき、生きるエネルギーを感じていただければ幸甚に存じます。

協力：有限会社興善、興子プロジェクト 佐倉康之

期間 2025年12月19日(金)～2026年3月9日(月)
会場 2F第4展示室(有料ゾーン)
時間 9:00～17:00(最終日のみ15時まで)

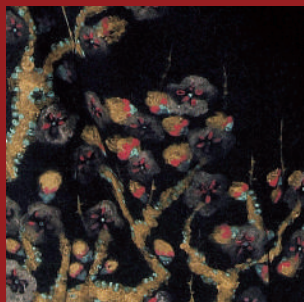
WS day 上絵付け体験 興子人形をキャラデザインしよう!
九谷興子が制作した実際の人形に上絵付けを行います。完成した作品は当館で展示し、会期終了後にお渡します。
※2/23に開催されるミニ屏風にピッタリのサイズのお人形です。

日時 2026/1/18(日) 10:00～、13:00～
参加費 無料 **講師** Sakurian
対象 小学生以上 **定員** 各回10名

完成イメージ

予約はホームページで受付中。当日も空きがあれば飛び入り参加大歓迎!

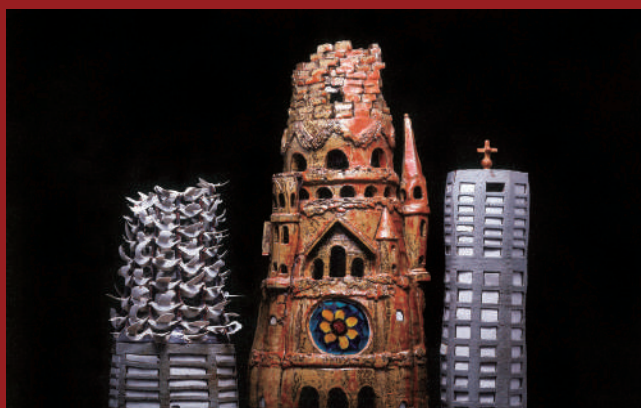
孤高の陶芸家 九谷興子の仕事を見る



1



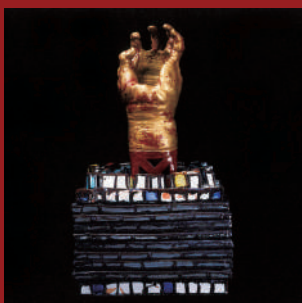
2



3



4



5



6

1.梅園文様留袖、2.睡人形、3.鳥翔而繅來、人征而不環・伯林 クーダム 於、4.湯文様染付大徳利、5.黄金の胸・興子胸、6.肉付面・線威吉崎物語文様色絵大皿(左)、肉付面・線威吉崎物語文様色絵大皿(右)

Koshi Kutani:
The Solitary
Potter

和紙をつくる。 和紙をつかう。

M a k i n g W a s h i , U s i n g W a s h i .

和紙は、楮(こうぞ)や三桴(みつまた)などの植物繊維を丁寧に漉いてつくられる日本古来の紙です。天然素材ならではの強さとしなやかさを持ち、長い年月に耐える保存性に優れています。正倉院には、千年以上前に使われた和紙が今も残されているほどです。石川県でも400年以上前から献上紙漉き場として加賀藩の庇護を受けた「加賀二俣和紙」や240年余り前から加賀平野で県内産の雁皮を使用して漉かれ始めた「加賀雁皮紙」、能登の豊かな自然を素材に、親しみやすい和紙に仕上げた「能登仁行和紙」など、それぞれの用途に適した各種和紙が今も地域に根付いています。

本展は、石川の地で伝統の技術を連綿とつないできた和紙作家たちのつくる和紙と、和紙を使った様々なアート作品や日常生活小物などを集めた企画展です。それぞれの和紙の個性を楽しみながら、ほっこりした世界感を味わっていただけましたら幸いです。

出展者：加藤和紙(加賀雁皮紙)、紙漉き工房のわし(和紙)、久田和紙みわ会(久田和紙)、黒川鈴代(和紙造形作家)、斎藤博(金沢二俣和紙)、遠見和之(能登仁行和紙)、山浦定雄(和紙造形作家)、吉田政己(和紙造形作家)、創作和紙工房まとも(和紙製品製造)

期間 2025年12月19日(金)～2026年3月9日(月)
会場 1Fギャラリー(無料ゾーン)
時間 9:00～17:00(最終日のみ15時まで)

WS day 和紙を漉いて作るミニ屏風 - 日時 2026/2/23(月・祝) 10:00～、13:00～
和紙を漉くところから、木枠に貼る表装までを体験し、二曲一双のミニ屏風をつくります。 参加費 1,800円 講師 山浦定雄 対象 小学生以上 定員 各回8名

予約はホームページで受付中。当日も空きがあれば飛び入り参加大歓迎!

いしかわのすてきなもの **MIKKE**
ミュージアムショップでは長谷川真希さん(金属工芸)、石田貴博さん、石田貴将さん(藍染)の作品を期間限定で販売します。
期間：2025年12月19日(金)～2026年3月11日(水)

伝統工芸士、職人による実演・体験の日程		★マークは体験あります。	
12月	20日(土) 加賀繻 ★	1日(日) 加賀獅子頭	1日(日) 山中漆器★
	21日(日) 加賀繻	7日(土) 金沢表具	7日(土) 加賀毛針
	27日(土) 金沢仏壇	8日(日) 金沢表具	8日(日) 加賀毛針
	28日(日) 金沢仏壇	14日(土) 茶の湯釜	14日(土) 美川仏壇
2月	10日(土) 加賀友禅	15日(日) 茶の湯釜	20日(金祝) 郷土玩具★
	11日(日) 加賀友禅	21日(土) 九谷焼	21日(土) 竹細工★
	12日(月祝) 加賀友禅	22日(日) 九谷焼	22日(日) 竹細工★
	17日(土) 金沢仏壇	23日(月祝) 九谷焼	28日(土) 和紙仁行★
3月	18日(日) 金沢仏壇	28日(土) 山中漆器★	29日(日) 和紙仁行★
	24日(土) 金沢漆器★		
	25日(日) 金沢漆器★		
	31日(土) 加賀獅子頭		

[実演時間] 午前10時から午後3時まで(正午から午後1時まででは休憩)
[実演場所] 1階エントランスホール ※日程は変更となる場合がございます。※詳細はいしかわ生活工芸ミュージアムまでお問い合わせ下さい。

Instagramにて工芸体験・実演の最新情報を載せています。 @densankan

電子チケット販売サイト https://www.e-tix.jp/isshikawa-densankan/

HPサイト https://www.isshikawa-densankan.jp 体験予約はこちら

いしかわ生活工芸ミュージアム



体験 PROGRAM

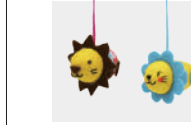
いつでも体験出来ます

水引ぼち袋



(体験料 / ¥500+入館料)

蒔細工



(体験料 / ¥500+入館料) ※1/4から体験料 ¥600

組子のコースター



(体験料 / ¥1,200+入館料)

本物の唐付でつくる カスタネット



(体験料 / ¥770+入館料)

【受付時間】
①9:00～11:00 ②13:30～16:00
【所要時間】
いずれも約20分程度
※5人以上で体験希望の場合は3日前までに電話予約をお願い致します。TEL:076-262-2020
※上記の体験はいずれも当館2Fへの入館が条件となります。入館料は下記をご覧ください。

次回企画展
3/13(金)～5/11(月)
野に遊ぶ工芸 釣り人日和

開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時45分まで)

休館日
4月～11月 毎月第3木曜日
12月～3月 毎週木曜日および年末・年始(12/31～1/3)(祝日の木曜日は除く)

入館料
1階:無料
2階:有料 個人 団体(30名以上)
大人18才以上 260円 210円
大人65才以上 210円 210円
小人17才以下 100円 80円

交通案内

バス JR金沢駅より北鉄バス小立野方面行きに乗車約15分。出羽町で下車。徒歩1分。
タクシー JR金沢駅から約15分。
車 北陸自動車道金沢東または金沢西インターから30分。駐車場有(無料)

至JR金沢駅

片町 香林坊 武蔵 橋場

石川四高記念文化交流館 金沢福公園 しいのき迎賓館 石川川

石川県立美術館 成賢閣 加賀友禅会館

国立工芸館 成賢閣 しいのき迎賓館 石川川

いしかわ生活工芸ミュージアム 成賢閣 しいのき迎賓館 石川川

いしかわ生活工芸ミュージアム 成賢閣 しいのき迎賓館 石川川

●金沢医療センター

本多の森ホール

兼六園周辺の文化施設共用無料駐車場もご利用できます。(能楽堂駐車場)

いしかわ生活工芸ミュージアム 金沢市兼六町1番1号(兼六園小立野入口隣り)

石川県立伝統産業工芸館 ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF TRADITIONAL ARTS AND CRAFTS
Tel.076-262-2020 Fax.076-262-8690

Open hour: 9:00-17:00 (last admittance at 16:45); Close: April to November: 3rd Thursday of the month (except Holiday Thursdays), December to March: Thursdays. The year-end and New Year holidays; Address: 1-1 Kenroku-machi, Kanazawa-shi, Ishikawa-ken 920-0936, Japan